

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
自動車整備 専門課程 (工業専門課程)	自動車整備科 2級整備士コース	夜・通信	1814	80×2= 160時間	
	自動車整備科 1級整備士コース 前期課程	夜・通信	1814	80×2= 160時間	
	自動車整備科 1級整備士コース 後期課程	夜・通信	1841	80×2= 160時間	
	ボディクラフト 科	夜・通信	983	80×1= 80時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/kamoku.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校 東京自動車大学校
設置者名	学校法人 小倉学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/meibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2025.5.28～選任 後4年以内に終了 する会計年度のう ち最終のものに関 する定時評議員会 の終結の時	法務
非常勤	元株式会社役員	2025.5.28～選任 後4年以内に終了 する会計年度のう ち最終のものに関 する定時評議員会 の終結の時	法人運営の チェック機能
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人小倉学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>				
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】</p> <p>国土交通省の認定する第一種自動車整備士養成施設として確保しなければならない自動車工学・自動車整備・機器の取り扱い・自動車検査・自動車整備に関する法規の各授業時間数が確保されているか、また工作・測定・自動車整備・自動車検査の各実習時間数が確保されているか、教務課学内会議において精査の上、授業科目の設定、講義内容の検討・検証を行い担当教員に授業配分を行っている。</p> <p>合わせて外部識者を交えた教育課程編成会議を年 2 回開催し、授業・実習内容の報告と意見聴取を行い、職業実践に即した授業・実習が実施できるよう努めている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定を 1 月から 2 月に作成し 3 月に各教員に教科配当している。</p> <p>外部委員を交えた教育課程編成委員会は当該年度のカリキュラムが確定した春期と次年度カリキュラム作成前の冬期に行い、春期は意見反映の報告を冬期は次年度に向けた意見聴取を主な議題としている。</p>				
授業計画書の公表方法	https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/syllabus.pdf			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>				
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は学則の実施に必要な項目を定めた細則において年間修業週、1 週間の学科・実習別の修業時間並びに時限の学習時間を定め、第 5 条の出欠の確認、第 6 条に学習成果把握方法としての試験の規定を設けている。同 7 条に学科評価および評定規定を設け、学科評価・評定については</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習評価は試験で行う事 2. 各教科及び卒業試験の合格は 100 点満点で 60 点以上とする事 3. 出席率 90%未満の者は補習を受けなければ成績記録がなされない事 4. 修了認定と評価・評定は下記の通りであることを規定している。 				
評価	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点
評定	AA	A	B	C
<p>実習評価・評定については以下の通り。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. レポート(30 点満点)試験(70 点満点)の合計点で学習評価を行う事 2. 合格は 100 点満点中 60 点以上としレポート未提出者の成績は記録しない事、 3. 修了認定と評価・評定は下記の通りであることを規定している。 				
評価	100～90 点	89～80 点	79～70 点	69～60 点
評定	AA	A	B	C

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【細則】</p> <p>第7条 学科評価及び評定</p> <p>(1) 試験により学習評価を行う。</p> <p>(2) 各教科及び卒業試験の合格は100点満点で60点以上とする。</p> <p>(3) 各学科目の出席率が90%未満の者は教科の成績を記録しない。但し、補習により、必要な時数を補った場合は、成績を記録する。</p> <p>(4) 各教科の修了認定と評価、評定は次のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評価</td> <td>100点～90点</td> <td>89点～80点</td> <td>79点～70点</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td>評定</td> <td>AA</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table> <p>2. 実習評価及び評定</p> <p>(1) レポート(30点満点)、試験(70点満点)の合計点により学習評価を行う。</p> <p>(2) 各学習科目の合格は100点満点で60点以上とする。また、レポートが未提出の場合は不合格とする。</p> <p>(3) 各実習科目の出席率が100%未満の者は教科の成績を記録しない。但し、補習により、必要な時数を補った場合は、成績を記録する。</p> <p>(4) 各実習科目の修了認定と評価、評定は次のとおりとする。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>評価</td> <td>100点～90点</td> <td>89点～80点</td> <td>79点～70点</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td>評定</td> <td>AA</td> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> </tr> </table>		評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	評定	AA	A	B	C	評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点	評定	AA	A	B	C
評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点																	
評定	AA	A	B	C																	
評価	100点～90点	89点～80点	79点～70点	69点～60点																	
評定	AA	A	B	C																	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/gakusoku.pdf																				
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>東京自動車大学校は、学校教育法に基づき、各種自動車の整備技術とその理論知識を授ける有能な自動車整備士として社会に貢献できる人材の育成を目的として、これまで9,300名を超える自動車整備士を輩出してきた。卒業要件については細則10条に規定している。</p> <p>【細則】</p> <p>(進級及び卒業の認定)</p> <p>第10条 進級及び卒業の認定は、所定の学科及び実習のうち、別表に定める修得すべき教科の単位修得した者及び進級、卒業試験に合格した者について、校長が認定する。各教科の終了は、次のとおりである。</p> <p>(1) 各教科の定期試験に合格すること。</p> <p>(2) 各教科の履修時間が、別表に定める授業時数の学科90%以上、実習100%であること。</p> <p>2.自動車整備科1級整備士コースの後期課程においては、2級ガソリン自動車整備士ならびに2級ジーゼル自動車整備士の試験合格が、教科履修の条件となる。</p>																					
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/gakusoku.pdf																				

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校東京自動車大学校
設置者名	学校法人小倉学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車整備 専門課程	自動車整備科 2級整備士コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	課外活動	実技
2年	昼	1491 単位時間/単位	783 単位時間/単位	単位時間/単位	648 単位時間/単位	60 単位時間/単位	単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
320人		252人	155人	23の内数人	6の内数人	29の内数人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
61人 (100%)	12人 (19.7%)	43人 (70.5%)	6人 (9.8%)
（主な就職、業界等） 国内自動車ディーラー			
（就職指導内容） 1年次1月に学内で連絡先企業約100社による企業合同ガイダンスを実施。 就職対象者への早期意識付けを図るとともに、面接指導等の就職試験実地訓練を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国家2級整備士（ガソリン・ジーゼル双方）整備士 その他関連する実質的な資格（損害保険募集人、中古車査定士、ソーシャル検定）を 全員受検させるほか、危険物取扱主任（乙4種）などの受験も積極的に推奨・受験 させている。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
194人	10人	5.2%
（中途退学の主な理由） 就職。経済的理由。		
（中退防止・中退者支援のための取組） クラス担任による早期カウンセリグ実施。 留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車整備 専門課程	自動車整備科1級整 備士コース前期課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類			
				講義	演習	実習	課外活動
2年	昼	1491 単位時間/単位	783 単位時間 /単位	単位時間 /単位	648 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240人		191人	0人	23の内数人	6の内数人	29の内数人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照	
学修支援等	
（概要） 定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
77人 (100%)	73人 (94.8%)	1人 (1.3%)	3人 (3.9%)
（主な就職、業界等） 国内自動車ディーラー			
（就職指導内容） 基本的に全員が1級後期課程へ学内進学するので、特に就職指導は行わないが、進路 変更により後期課程を辞退し就職を希望する者については2級コース卒業予定者と同様 の指導を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 1級後期課程への進学条件である2級整備士資格（ガソリン・ジーゼル）の取得他、 2級コースの学生に準ずる。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
170 人	5 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による早期カウンセリグ実施。 留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	自動車整備 専門課程	自動車整備科1級整 備士コース後期課程	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	課外活動	実技
2年	昼	1512 単位時間/単位	633 単位時間 /単位	単位時間 /単位	815 単位時間 /単位	64 単位時間 /単位	単位時間 /単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	112人	1人	23の内数人	6の内数人	29の内数人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
52人 (100%)	6人 (11.5%)	45人 (86.5%)	1人 (1.9%)
（主な就職、業界等） 国内自動車ディーラー			
（就職指導内容） 後期課程1年次(実質3年生)に学内で進路先企業約100社による企業合同ガイダンス を実施。就職対象者への早期意識付けを図るとともに、面接指導等の就職試験実践訓練 を実施			
（主な学修成果（資格・検定等）） 1級小型自動車整備士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	6 人	5.9%
(中途退学の主な理由) 就職		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による早期カウンセリング実施。 留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		自動車整備 専門課程	ボディクラフト科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	課外活動	実技
1年	昼	696 単位時間/単位	276 単位時間 /単位	単位時間 /単位	396 単位時間 /単位	24 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	2人	23の内数人	6の内数人	29の内数人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の2.及び3.を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 定期試験の他、各単元の終わりに確認テストを実施し、学修成果の確認を行っている。 授業欠席者があった場合は、クラス担任が必ず本人に連絡を取るとともに、3日以上 の欠席は保護者への連絡・連携を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 国内自動車ディーラー			
(就職指導内容) ボディクラフト科進学前年より就職対象者への早期意識付け進路ガイダンス・企業 説明会等を実施して意識付けを行い担任・進路指導教員による進路指導を実施。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 卒業生全員が車体整備士試験に合格し資格取得した。			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任による早期カウンセリング実施。 留学生への資格外活動制限時間遵守の指導。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科 2級整備士コース	330,000円	420,000円	590,000円	
自動車整備科 1級整備士コース 前期課程	330,000円	420,000円	590,000円	
自動車整備科 1級整備士コース 後期課程	330,000円	420,000円	590,000円	
ボディクラフト科	100,000円	470,000円	630,000円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 前年度評価についてホームページで公表。卒業生進路先企業、卒業生、PTAの各関係組織から委員を選出し、学校運営に対する意見聴取、評価を実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別

トヨタモビリティ東京株式会社	2024/05/01 2026/04/30	～	企業等委員
日産東京販売株式会社	2024/05/01 2026/04/30	～	企業等委員
株式会社ファーストガレージ	2024/05/01 2026/04/30	～	卒業生
PTA 会長	2024/05/01 2026/04/30	～	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.taus.ac.jp/quickcode/taus/file/hyoukahoukokusho.pdf			
第三者による学校評価 (任意記載事項)			

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.taus.ac.jp/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H113312200059
学校名 (〇〇大学 等)	専門学校 東京自動車大学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人 小倉学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等 (内数) ※家計急変による者を除く。		81 人 (-人)	77 人 (-人)	84 人 (-人)
内 訳	第Ⅰ区分	33 人	30 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅱ区分	- 人	13 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅲ区分	13 人	- 人	
	(うち多子世帯)	(人)	(人)	
	第Ⅳ区分 (理工農)	22 人	22 人	
	第Ⅳ区分 (多子世帯)	- 人	- 人	
区分外 (多子世帯)	人	人		
家計急変による 支援対象者 (年間)				0 人 (人)
合計 (年間)				84 人 (人)
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、 高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限り。)			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	-人
3月以上の停学	0人
年間計	-人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。